

麻酔・蘇生学

1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	1 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	2 人	(2 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	4 人	(2 人)
診療助教	4 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	7 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	1 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	0 人	
その他（技術補佐員等）	0 人	
合計	20 人	

2 教員の異動状況

中島芳樹（教授） H28.5.1～ 現職

加藤孝澄（准教授） H15.10.1～ 現職

牧野 洋（講師） H23.4.1～ 現職

御室総一郎（講師） H27.2.1～ 現職

谷口美づき（助教） H19.2.1～ 現職

川島信吾（助教） H27.7.1～ 現職

鈴木興太（助教） H25.1.1～ 現職

成瀬 智（助教） H27.8.1～ 現職

八木原正浩（診療助教） H27.5.1～ 現職

柳 由紀（診療助教） H27.4.1～ 現職

朝羽 瞳（診療助教） H25.4.1～ 現職

川島若菜（診療助教） H27.8.1～ 現職

3 研究業績

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	5 編	(1 編)

そのインパクトファクターの合計	13.48
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編
そのインパクトファクターの合計	0.00
(3) 総説数 (うち邦文のもの)	1 編 (1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数 (うち邦文のもの)	4 編 (4 編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	3 編 (3 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00

(1) 原著論文 (当該教室所属の者に下線)

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Makino H, Hokamura K, Natsume T, Kimura T, Kamio Y, Magata Y, Namba H, Katoh T, Sato S, Hashimoto T, Umemura K : Successful serial imaging of the mouse cerebral arteries using conventional 3-T magnetic resonance imaging. J Cereb Blood Flow Metab. 35, 1523-7, 2015.

インパクトファクターの小計 [5.704]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

1. Kurita T*, Morita K, Sato S : The Influence of Hypovolemia and Fluid Resuscitation During Hemorrhagic Shock on Apneic Oxygen Desaturation After Preoxygenation in a Swine Model. Anesth Analg 121:1555-61, 2015. [3.472]
2. Kurita T*, Morita K, Sato S : Impact of a β -blocker and/or acute hemodilution on cerebral oxygenation during apneic hypoxia. Acta Anaesth Scand 60:343-53, 2016. [2.322]
3. Kurita T, Morita K, Sato S : Evaluation of near infrared spectroscopy for detecting the β blocker-induced decrease in cerebral oxygenation during hemodilution in a swine model. Journal of Clinical Monitoring and Computing, 29, 779-788, 2015. [1.985]
4. 木村哲朗, 加藤孝澄, 小笠原 孝, 御室総一郎, 牧野 洋, 鈴木 明, 佐藤重仁 : 経食道心エコープロープ挿入における McGRSTH[®]MAC の有効性の検討 麻酔, 65, 67-74, 2016.

インパクトファクターの小計 [7.779]

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 牧野 洋:「国際麻酔科学史シンポジウムのあゆみ」と「第 10 回国際麻酔科学史シンポジウム 2021, 10th International Symposium on the History of Anaesthesia」招致に向けた取り組みの紹介 臨床麻酔

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

（４）著 書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 谷口美づき：循環の危機管理 産科危機的出血 P B L D形式で学ぶ麻酔科危機管理
2. 牧野 洋，佐藤重仁：菌状息肉症・セザリー症候群 まれな疾患の麻酔 A to Z
3. 水野香織，佐藤重仁：ガラクトース血症 まれな疾患の麻酔 A to Z
4. 成瀬 智，佐藤重仁：デュビン ジョンソン症候群 まれな疾患の麻酔 A to Z

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

（５）症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）

1. 加藤弘美，永田洋一，高木佑英紀，秋永泰嗣，高田和典，佐藤重仁：単冠動脈症患者の部分弓部大動脈人工血管置換術および大動脈弁置換術の麻酔経験 日本臨床麻酔学会誌，35，434-438，2015.
2. 加藤弘美，御室総一郎，川島信吾，小幡由佳子，土井松幸，佐藤重仁：肺塞栓症を合併したインフルエンザB型感染症に対し非侵襲的陽圧換気で管理しえた一症例 蘇生，34，113-117，2015.
3. 木村哲朗，佐野秀樹，鈴木興太，中島芳樹：持続尺骨神経ブロックで周術期管理した手指壊死痛の1症例 日本ペインクリニック学会誌，23，21-24,2016.

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数（出願中含む）	0 件

5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 27 年度	
(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)	3 件	(310 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件	(0 万円)
(3) 日本医療研究開発機構 (AMED) による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 科学技術振興機構 (JST) による研究助成	0 件	(0 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(6) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	1 件	(22 万円)
(8) 奨学寄附金	9 件	(423 万円)

(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)

1. 基盤研究(C) (加藤孝澄) 「高齢者の術前運動療法の周術期心筋保護と術後回復促進のメカニズムに関する研究」 平成25年度～平成28年度 平成27年度70万円
2. 基盤研究(C) (牧野洋) 「腸内細菌叢制御による脳動脈瘤破裂予防の研究」 平成27年度～平成29年度 平成27年度110万円
3. 基盤研究 (C) (御室総一郎) 「出血性ショック後の臓器障害に与える一酸化窒素吸入の効果に関する研究」 平成27年度～平成29年度 平成27年度130万円

(7) 受託研究または共同研究

1. 受託研究 (製造販売後調査等) (株)大塚製薬工業 H25.03.31-H29.06.22 21.6 万円

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	1 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	3 件
(3) 学会座長回数	0 件	7 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	14 件
(6) 一般演題発表数	3 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

1. Makino H, The first man who used a laryngoscope in Japan., Anesthesia history association 2015 annual

meeting, 2015.04, Houston

ポスター発表

1. Makino H, The first man who used chloroform for general anesthesia in Japan. , American Society of Anesthesiologists, 2015.10, San Diego
2. Aki Uemura, Masahiro Yagihara, Remifentanyl suppressed surgical and anesthesia stress reaction during general anesthesia combined epidural analgesia in pediatric patients. , American Society of Anesthesiologists, 2015.10, San Diego

(2) 国内学会の開催・参加

1) 主催した学会名

2) 学会における特別講演・招待講演

1. 中島芳樹, 専門医コースレクチャー 人工心肺中の灌流圧と流量, 日本心臓血管麻酔学会第 20 回学術大会, 2015.10, 福岡市

3) シンポジウム発表

1. 中島芳樹, 海外に目を向けよう: 留学のススメ, 日本麻酔科学会第 62 回学術集会, 2015.5, 神戸市
2. 中島芳樹, デスフルラン麻酔の現状, 日本臨床麻酔学会第 35 回大会, 2015.10 横浜市
3. 川島信吾, 人工心肺による血液希釈と凝固線溶系の変化-フジサン分類による適正輸血への取り組み-, 日本心臓血管麻酔学会第 20 回学術大会, 2015.10, 福岡市

4) 座長をした学会名

1. 日本心臓血管麻酔学会第 20 回学術大会
2. 日本臨床麻酔学会第 35 回大会
3. 第 119 回日本産科麻酔学会学術集会
4. 日本麻酔科学会東海・北陸支部第 13 回学術集会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

1. 日本麻酔科学会東海・北陸地区 理事 (中島芳樹)
2. 日本シミュレーション学会 理事 (中島芳樹)
3. 日本蘇生学会 評議員 (中島芳樹)
4. 日本区域麻酔学会 評議員 (中島芳樹)
5. 日本心臓血管麻酔学会 評議員 (中島芳樹)
6. 日本麻酔科学会東海・北陸地区 理事 (加藤孝澄)
7. 日本シミュレーション学会 理事 (加藤孝澄)
8. 日本ペインクリニック学会東海北陸地区 理事 (加藤孝澄)
9. 日本臨床麻酔学会 評議員 (加藤孝澄)
10. 日本麻酔科学会 評議員 (加藤孝澄)

11. 日本区域麻酔学会 評議員 (加藤孝澄)
12. 日本心臓血管麻酔学会 評議員 (加藤孝澄)
13. 日本麻酔科学会 麻酔博物館委員 (牧野洋)
14. 日本麻酔科学会 国際麻酔科学史シンポジウム 2021 招致検討専門部会 部会員 (牧野洋)

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数（レフリースは除く）	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

14 研究の独創性，国際性，継続性，応用性

15 新聞，雑誌等による報道